

白石川右岸河川敷等の整備を行っています。



白石川右岸河川敷等の整備は、平成 29 年度に宮城県とのコラボ事業としてスタートしました。河川敷の整備を実施するにあたり、関係機関や公募による委員で構成する「白石川右岸河川敷等整備事業検討委員会」及び町職員を中心とした「河川敷賑わいプロジェクトチーム」を設置し、新たな賑わい空間の創出をコンセプトに協議を重ね、令和 2 年度に「白石川右岸河川敷等整備事業基本計画」を策定しました。

○これまでの整備状況（令和 3 年度～令和 4 年度）

令和 3 年度～令和 4 年度には、令和元年に策定した「都市計画マスタープラン」を踏まえ、町民の健康増進に繋がるスポーツを中心とした賑わい空間の創出等、新たな観光資源として子供から高齢者まで楽しめる施設整備を行うことを目的とし、河川敷等約 12.1 ha を都市公園「おおがわら千本桜スポーツパーク」として位置付け整備を行いました。

① サイクリング・ウォーキングロード

令和 4 年 4 月にサイクリング・ウォーキングロード約 2.7 km（おおがわら桜ライン）が完成しました。みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議が作成した「みやぎ仙南サイクリングガイド」のサイクリングコースの一部となっております。



② OGAWARA MTB S-PARK(スパーク)

令和4年4月にマウンテンバイクパークS-PARK(スパーク)が完成しました。コースは、MTBプロライダー 井手川 直樹 氏によるデザイン監修が行われ、日本初の河川敷複合型MTBパークとして、たくさんの皆様にご利用いただいております。

また、施設整備にはクラウドファンディングを実施し、寄附金を整備費用に充当させていただきました。



③ 宮城県による親水護岸整備

水と親しめる親水空間として、令和4年度に宮城県が護岸整備を行いました。水辺には、潤い・遊び・安らぎの場を創り出し、清々しさや涼を感じさせる効果があると共に、火災や災害時等の緊急的な水源確保の場所としても活用が可能です。

今後、水生生物の生息や生育も見込まれることから、環境学習の場としての利用にも期待ができます。



④ ドッグラン及び芝生広場

令和5年2月にドッグランが完成しました。施設内は、小中型犬用と中大型犬用に分かれており、リードを外し自由に遊ばせることができます。ドッグランは、犬の運動不足やストレス解消、犬同士のコミュニケーションの場として利用できます。

芝生広場につきましては、令和3年度から令和7年度までの5箇年計画で整備を実施しております。デイキャンプやバーベキュー、芋煮会、その他イベント等に使用できます。



⑤ パークゴルフ場

パークゴルフ場は、4コース36ホールの整備を終え、令和5年夏以降のオープンを予定しております。パークゴルフは、カップインするまでの打数を競い合うスポーツで、クラブ1本とボールがあれば、子供から大人まで誰でも気軽に楽しめます。

また、当コースは、公益社団法人日本パークゴルフ協会公認コースの認定を申請しております。



○今後の整備予定（令和５年度～）

「千本桜を千年先へ（桜が繋ぐ交流とスポーツの賑わいテラス）」を基本コンセプトに堤内地（田んぼ側）に「賑わい交流拠点施設」の整備を行い、心も身体も健康で幸福な状態が続く Well-being なまちづくりの実現を目指します。

また、おおがわら千本桜スポーツパークの利用促進と機能拡充に繋げる施設整備を実施するとともに、植樹１００周年を迎えた「一目千本桜」の情報発信や伝承を行うための空間形成と、地域の防災拠点施設の機能を兼ね備える施設とするための整備を行います。

【令和５年度の主な予定（賑わい交流拠点施設整備）】

- ① 官民連携手法導入可能性調査を実施し、民間活力を導入した事業手法を検討
- ② 盛土造成及び道路整備の実施設計
- ③ 整備予定地の用地買収

【令和６年度以降の主な予定（賑わい交流拠点施設整備）】

- ① 官民連携参入事業者の公募
- ② 盛土造成及び道路整備
- ③ 事業手法及び整備手法の決定に基づいた施設整備
- ④ 賑わい交流拠点施設のオープン

【基本設計による賑わい交流拠点施設のイメージ図】

※今後、施設整備に官民連携手法が導入された場合、基本設計と異なる整備内容になる可能性があります。

